

いいお産の日記念事業



高松会場実行委員長 片岡孝子

今年のいいお産の日記念事業は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、人数制限を緩和した開催となります。日程は11月3日(金)、会場は昨年と同様、いのちの応援舎です。イベント内容は、「沐浴と抱っこ体験」、「ベビーマッサージ」、「助産師相談」、「足形アート」、特別座談会では昨年好評だった「真鍋助産師とお産を語ろう」を今年も行います。初めての試みとしては、ぼっこ助産院さんご協力のもと、妊婦さんの4Dエコーの体験を予定しています。現在のところベビーマッサージ以外は人数制限なしでの開催を計画していますが、今後の感染状況によっては昨年と同様で完全予約制に変更になる可能性もあります。どのくらいの方に来ていただけるのかわかりませんが、来場していただいた方々に笑顔と安心を提供できるようにみんなで準備していきたいです。

また、いいお産の日記念事業は、施設の助産師と地域の助産師がこの事業を成功させるために、ともに協力するなかで交流を深めていける大切な機会だと考えています。私たち助産師もお互いの絆を深め、いいお産の日を楽しみましょう！皆様どうぞご協力よろしくお願ひいたします。

## 8月～R6.1月の研修会及び行事

学会名・テーマ 演題名・講師名	開催日時 場所	定員	参加費 会員/非会員
研究会 「性教育の動向とプレコン委員会実践報告」(仮) 助産師会 プレコン委員会 アドバイザー 真鍋由紀子 委員長 竹内美由紀	9月3日(日) 10:30～12:00 いのちの応援舎	25	500円/1000円 
【抱き合わせ最新情報勉強会】 「臍帯血採取および保管と再生医療の現在」(仮) (株)ステムセル研究所 近畿・中四国エリア長 北原 純	11月19日(日) 10:00～10:30	25	(無料) ※お持ち帰り お弁当の準備予定
研修会 さぬきさんばの先輩から学ぶ 「私が伝える骨盤ケア ～その思いと実際～」(仮) 助産師 田中幸子	10:45～12:15 いのちの応援舎		1000円/2500円 
研修会 「新生児蘇生法(NCPR)スキルアップコース」 インストラクター 未定 	2023年1月27日(土) 9:30～12:30 香川大学医学部附属病院 地域医療教育支援センター (スキルラボラトリー)	12	3000円/6000円 非会員の申込みは 9月4日(月)から 申込み期限 12月1日(金)厳守 ほか 下記要参照

《参加の申し込み》 すこやか助産師センター事務所へ、電話またはFAXでゆとりを持って申し込みをしてください。

Tel : 087-844-4131 Fax : 087-844-4130 電話受付時間：月から金曜日の 10:00～16:00 (祝祭日を除く)

\* 計画変更は、ホームページに掲載します。

新生児蘇生法(NCPR)スキルアップコースについて・会員を優先とします。非会員の申し込みは、2023年9月4日(月)から。

・会員・非会員ともに申込期限は、2023年12月1日(金)16:00までとします。ただし期限内であっても募集定員(12名)に達した場合は、その時点で募集を終了します。

・申し込み時には、認定番号、有効期限、所属施設名、携帯番号を必ずお伝えください。

# とらうべ通信

2023.8月号  
No.103

発行所発行所：(社)香川県助産師会 高松市春日町 1176

発行責任者：佐々木 三千代 ☎ : 087-844-4131 FAX : 087-844-4130

## 新会長挨拶

会長 佐々木 三千代

会員の皆様いつも香川の母子保健に貢献していただきありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日から5類感染症に移行され、香川県助産師会の令和5年度総会を4年ぶりに対面で行わせていただきました。感染対策を取りながら無事終了できましたこと皆様のご協力に感謝申し上げます。



この総会では会長・副会長・保健指導部会長・勤務部会長が任期満了にて、新しい役職へと変わりました。前宮本会長の6年間は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、各教室の開催にご苦労されました。また中国・四国地区研修会が対面式からオンライン形式へと変更になり、コロナ感染症に振り回された6年間だったように感じます。長い間ありがとうございました。前会長には会をサポートしていただき副会長として就任していただきました。これからもよろしくお願いします。また前保健指導部会長の関亦様6年間お疲れさまでした。これからは加藤様に引き継がれます。勤務部会長の小松様には助産師会の会員の半数以上を占める部会長をお引き受けいただきました。他の執行部役員は大きく変わっておりません。私は助産院、母子訪問に従事し、ゆっくり母子に関わる仕事をしていきたいと思っている性格のためこのような責任ある職務に心配はありますが先輩諸姉にご指導を頂きながら頑張っていこうと思っております。皆様よろしくお願いします。

5月より会長職に就任し2ヶ月が経過、日本助産師会の助産所部会集会が6/21に行われました。厚労省は出産費用の保険適用を3年後に導入を検討中と表明があり、この件について集会があったのですが、時間の制約もあるため各助産所部会長の意見を聞くのみとなりました。助産師会としての考えを出し全国の助産師が協力し助産所でのお産を絶やさないように早急に動かなければいけない課題です。日本助産師会の代表者会議はまだこれからです。本部も新会長になり私も初めての出席です。日本助産師会の動向については次のとらうべ通信で報告させていただきます。

香川県助産師会では「いいお産の日事業」が両会場で実施される予定です。今年で27回目となり皆様の協力のもと長寿事業となっております。勤務助産師と地域助産師が一緒に取り組む事業で顔の見える唯一の事業と思っています。楽しんで取り組んでもらえるように実行委員長はじめ会員の皆様の協力を今後もよろしくお願いします。またプレコン委員会も活発に活動が開始されています。活動報告もどんどんとらうべ通信で皆様へ報告できればと思っています。香川県委託事業の「助産師のほっと相談室」はコロナウイルス感染が5類になったことで利用件数も上がっております。感染対策に留意され母子のために活動していただきたいと思います。

梅雨もまだ明けず異常気象なのか天気が急変し大雨に遭うことが多くなっています。新型コロナウイルス感染にも気を付けて、健康に留意し多くの母子のために活動していただきたいと思います。

## 総会報告

### 2023年度 公益社団法人 日本助産師会通常総会

代議員 片岡孝子



5月25日・26日に東京の日本教育会館で行われた日本助産師会通常総会、三部会合同集会に、竹内美由紀さんと片岡の2名で参加してきました。私は20数年ぶりの上京のため、無事会場に辿り着けるかが不安でしたが、竹内さんのおかげで代議員の役目を果たすことができ、楽しい東京での2日間となりました。

通常総会の前日に行われた合同集会では、とりこえ助産院・訪問看護ステーションの活動についての講演があり、助産師の行う訪問看護の重要性と必要性を感じた内容でした。講演後のグループディスカッションでは、久しぶりの対面とあり、どのグループも活発な意見交換が行われていました。通常総会には127名の代議員が参加し、提出議案は次々と承認されました。会場では、分娩費の保険適用化や嘱託医についての質問があり、特に分娩費の保険適応については様々な意見があがっていました。このことについては、現在のところ具体的なことは決定しておらず「みえるか委員会」というものを発足し、本当にできるのか?ということを検討している状況のことでした。開業助産師の方が「何事もなく出産をむかえられるようにおこなっているケアは点数化できない。医療行為をしていないことが一番妊産婦に関わっているということを理解してほしい。」と力強い口調で発言されており、日々妊産婦に寄り添って関わっているからこそその言葉だと感じました。分娩費の保険適応化が、妊産婦の方と助産所の双方にとって不利益が生じることのないように今後の動向に注視していきたいです。提出議案、事業報告は日本助産師会機関紙5月号「助産師」をご参考ください。

今回、竹内さんが日本助産師会会長表彰を受けられました。おめでとうございます！

香川県助産師会と同じく日本助産師会も今年度から会長が交代され、ともに新体制のもと動き出しています。女性達が笑顔で過ごしていくように、まずは自分の目の前にいる母子と丁寧に関わっていきたいです。



### 研修報告 テーマ「乳児の成長発達支援～生後4ヶ月まで～」

講師 かがわ総合リハビリテーションセンター作業療法士 大野香織先生



報告 池田梨江

2023年7月2日（日）に作業療法士の大野先生による乳児の成長発達支援についての研修が開催されました。現在、乳児の発達については定型発達であっても悩まれているお母さん方は多く、重要なテーマの一つとなっています。私たち助産師は新生児から生後4ヶ月までの乳児と関わる機会が多く、そしてその期間は赤ちゃんの発達の中でもとても大切な時期でもあります。

今回の研修では大野先生より生後4ヶ月の乳児の支援の実際について学ぶことができ、とても貴重な時間となりました。講義内容としては“成長と発達の道筋”、“感覚を中心とした発達の様子”、“感覚の特性の理解”、“感覚の発達の特性から考えられる困り”、“養育・支援のヒント”、“私たちにできること”でした。実際の乳児の写真を見ながら発達過程を一つ一つ分かりやすく説明して下さり、実際の臨床現場での支援についてもお話を下さいました。講義の中で特に印象に残ったのは「運動発達と精神発達は相互作用している」「大切なのは“安心”養育者と赤ちゃんは育み育まれている」「応援する者に求められていることは、お互いに現状を効い、敬い、尊重すること」という言葉です。私たち支援者は月齢だけでなく、乳児の感覚特性についても理解し、その子の個性を尊重した関わりが大切であることを改めて気付かされました。そして何よりも赤ちゃんが安心できる関わりや環境をつくること、お母さん方が今の現状を肯定的に捉えることができるよう支援していくことが大切であると感じました。助産師としてもお母さん方や赤ちゃんにとって安心できる存在でいたいものです。

## 産婆の知恵



ベテラン助産師さんから後輩助産師に伝えていきたいことを書いていただいた「産婆の知恵」！！  
今回は十河幸恵さんです。

### 「いいお産の日事業」継続

十河幸恵

「第1回いいお産の日」は出産の現状を知ってもらい、お産状況を少しでもより良いものにしたいという思いで1997年11月3日に県内助産師19名で開催しました、今年で第27回となります。毎回参加者・参加団体の輪が広がり行政の支援もあり2008年から東讃・西讃と県内2箇所で妊娠・出産・育児について考え方語り合う参加型のイベントが活発に実施されうれしく思っています。最近はコロナ禍の影響でいろいろ規制がある中試行錯誤しながら実施している状況です。今までに取り組んできた事である、夫立ち合い分娩・母乳育児・母子同室・カンガルーケア・バースプラン・ベビーマッサージ・ヨガなどが「いいお産の日事業」から広がり今では赤ちゃんのためお母さんのためのクラスが多く施設で実施されるようになりました。

「いいお産の日事業」を継続して実施することで施設勤務の助産師と地域で活動する助産師の連携が密となり、時には事例検討で盛り上がり施設間の情報提供があったりと県内助産師の情報交換の場となりそこから多くの情報が一般の方・行政の方・報道関係の方々へと輪が広がっていました。

『いいお産』とはいろいろな考えがありますがお母さんと赤ちゃんの安全が守られ、そのうえで母児の体と心にやさしい適切な医療とケアが受けられることが不可欠です。お産をするお母さんは大きな試練を乗り越えるとき信頼できる助産師のケアを受けられることで満足度の高いお産を体験することが出来るのではないかでしょうか。

香川県内を見てみると産婦人科医の高齢化か分娩場所が減少し助産院もぼっこ助産院1箇所となりました。今後は分娩施設での院内助産はもとより助産師外来の充実を図り産科医が医学のプロならば助産師はケアのプロとして母子の支援にかかわっていって欲しいものです。助産師が力を発揮できる分野として院内助産がありますが県内の院内助産施設の仲間入りをしたさぬき市民病院では今助産師たちが頑張って助産師が主体的にかかわり産む人にとって満足度の高い分娩が出来ているようです。

いいお産の日は県民みんながお産・育児について考えより良い環境を作るためにぜひ継続していって欲しいと切に願っています。



### いいお産の日記念事業

西会場実行委員長 宮武律子



今年のいいお産の日西会場は、11/12（日）に岡田コミュニティセンターにて完全予約制で開催します。今年も昨年と同様、メインとなる講座は一家族につき2講座まで予約可能としています。予約が必要となる講座としては、妊婦さんとそのご家族向けの「赤ちゃんの抱っこ沐浴体験」、「マタニティヨガ」、育児中のご家族に向けた「ベビーマッサージ」を開催予定です。予約不要で立ち寄れる講座としては、助産師による育児相談と足型作成ができる「よってきまいコーナー」、昨年好評だったお子さんの寝相アートが撮れる「フォトブース」や、「妊婦体験」コーナーの設置を予定しています。

コロナ禍での開催だった昨年・一昨年は感染症対策を十分に行い、来場者の滞在時間が長くならないように留意してきました。今年は新型コロナウイルスが5類感染症に移行したことでも大きく、人々の行動範囲にも変化が出てきました。時代の流れに応じた感染症対策を十分取りながらも、来場した方々にはじっくり楽しんで帰ってもらいたいと考え、昨年予約制にしていた「よってきまいコーナー」を今年は予約不要とし、気軽に立ち寄れるコーナーとしました。講座の受講後に家族で足型を取り、妊婦体験等をして楽しんで帰っていただけると嬉しいです。

新型コロナウイルスが流行し始めて約3年半が経とうとしています。このコロナ禍で妊婦さんや子育て中の家族の交流が制限されたり、助産師に求められるニーズも多様化してきました。withコロナの時代として、いいお産の日の開催も流行状況に応じて年々変化してきました。今の開催形態が軌道に乗ってきたのは去年・一昨年の実行委員の方々を始め、一緒に試行錯誤しながら検討してくださった皆様のご尽力のおかげです。当日はみなさんに楽しめたらと思いますので、ご協力よろしくお願ひします。